

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

創立 昭和32年3月23日

RI承認 昭和32年4月15日

会長 大里 忠 弘

副会長 宮内 榮

幹事 金島 弘

会計 金子 芳 則

2012～2013年度 RI テーマ

奉仕を通じて平和を

Peace Through Service

2012～2013 RI 会長 田 中 作 次



例会日時 毎週水曜 12:30～

例会場 銚子商工会館5F大会議室

事務所 銚子市三軒町19-4

銚子商工会館内

電話 0479-25-3111(会館)

0479-23-0750(専用)

ファクス 0479-25-8789

e-mail rotary@choshinet.or.jp

URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~crc>

第2744号 (2013年1月30日発行)

今週のプログラム

『物故会員 (故青野進会員) を偲んで』

宮内清次 会員

前回の例会報告 (1月22日)

銚子東RC / 銚子RC 合同例会

会場：銚子プラザホテル

点鐘 (18:00) : 石上明宏 銚子東RC 会長

国歌：君が代

ロータリーソング：それでこそロータリー

講演：(株)オーケー光学代表取締役

大谷京子様 (千葉北RC)

懇親会 (18:20)

会長挨拶

皆さん今晚は、本日は恒例となりました銚子ロータリークラブと銚子東ロータリークラブとの合同例会です。今回は東クラブが担当ですので、私の方から会長挨拶をさせていただきます。

先週の17日に第七分区の会長幹事会があり



その帰り道の車中、大里会長と会員増強の件でお話しさせて頂きましたが、候補者は何人もいてアプローチもしているけど、なかなか結果に結びつかないですね、と話していました。思い返せば半年前、年度が変わる直前の両クラブ引き継ぎの正副会長幹事会で、会員増強についてお話が出ました。その席上、銚子クラブさんは次年度幹事の宮内秀章さんが委員長で、我東クラブは、直前幹事の黒田さんが委員長。両クラブの増強委員長が同席していたのもあり、良い意味で競い合いました。大里会長から言われた事を思い出しました。

ここ数年で両クラブの女性会員が増えたこともあり、今回は女性に的を絞って、活躍している女性の方から卓話を頂こうと12月に行われた両クラブの会長幹事会で話が出まして、銚子クラブ会長エレクトの宮内栄さん、また当東クラブの会長エレクト宮内博さんからのご推薦で、千葉北ロータリークラブの会長エレクトであります大谷京子さんが相応しいのではとのことになり、ご依頼



第2790地区

ガバナー 得居 仁 (松戸東RC)

会報委員

大岩将道、坂本尚史、越川信一

したところ快諾して頂き、お忙しい中、本日もお越し頂きました。

また、女性という観点から東京商工リサーチが所有する245万社(去年9月時点)の代表者データから、女性社長のデータを抽出したのによると、全国245万社のうち女性社長は26万4,445人で約9.3人に1人の割合となり、また前年同月では24万3,632人で、前年度対比109%で年々女性社長が増えているとのことです。

そのような中、本日もお越しの大谷様は地元では勿論の事、地区の方でも活躍しており、前年度はインターアクトの委員でもありました。会社は株式会社オーケー光学で偏光レンズ加工メーカーです。大谷さんが代表取締役を務めるオーケー光学は、常に挑戦、前進をしつづけるために何事にも積極的に取り組むチャレンジ精神旺盛な企業だそうです。

後程、大谷様から卓話を頂きますが、ロータリーの話や職業の話、また女性ならではの話等、いろいろ拝聴できると思います。少しでも両クラブの新たな会員増強の一助になればと思います。

最後に年度当初銚子クラブに就任挨拶に行った時にも言わせて頂きましたが、上半期はありませんでしたし、下半期も無いとは思いますが、もし万が一新会員のアプローチ中にバッティングすることがありましたら、寛容な気持ちと親心で譲って頂けると有難く存じますので宜しくお願い致します。本日合同例会の会長挨拶とします。

幹事報告

1. ロータリー補助金ニュース
……ガバナー事務所
2. 日本人親善朝食会についてのお願い
……ガバナー事務所
3. 2013-14年度国際ロータリーテーマ「ロータリーを實踐しみんなに豊かな人生を」
……ガバナーエレクト 関口徳雄様

例会変更

小見川RC：1月23日(水) 移動例会
(12時点鐘 香取神宮)

<卓話>

《なんとかなるさ

～私と仕事とロータリー～》

(株)オーケー光学代表取締役

大谷京子様(千葉北RC)



みなさんこんばんわ。千葉北ロータリークラブの大谷京子と申します。本日は銚子ロータリーと銚子東ロータリーの合同例会の卓話ということで私の卓話でいいのだろうかと思いますが、せっかくだいたいたお話ですので頑張ります。

今日は私のこれまでの人生・仕事・ロータリーについて話していこうと思います。ただ楽しい時間にしたいと思いますので聞いてください。

1972年2月生まれで現在40歳。ちょうど私が産まれたころ「あさま山荘事件」があったそうです。家族は母と私と弟の3人家族です。そしてこの地「銚子」は母の故郷です。芦崎町です。小さい頃から銚子にはときどき来ていてかなり馴染みある場所なのです。

私のことを話したいと思いますが、私は千葉市で普通の小学校・中学校・高校・専門学校と進学しました。いつもいつも元気で明るいと言われますが、学生時代全く目立たないタイプでした。今でも自分の性格はと聞かれてネクラなのと言うのですが誰も信じてくれません。とても活発に見られますが運動はまったくのオンチで何をやらせても上手にできませんね。だからといって勉強が出来たわけでもなく文武両ダメです。ただ働くということに関しては大好きで、学生のアルバイト時代から完全に「仕事人間」でした。

学校を卒業して私は京成トラベルという旅行会社に就職しました。旅行会社でも楽しく働き「休みなんかなくていいのに」と思うくらいエンジョイしていました。ずっとここで働いて女性初の所長になろうとか思っていました。

ところが働き初めて5年目の24歳のある日。私の人生が変わる大事件が起きたのです。当時、父は仲間と英会話教室に通っていました。英会話もさながらその帰りに仲間と飲むお酒が楽しくて行っているとみんなには言われてましたけど。その日も仕事のあと英会話に行きお決まりコースの居酒屋でビールを頼んだようです。その飲み屋さんのトイレで倒れてそのまま倒れて亡くなっ

てしまったのです。父 54 歳私 24 歳の時でした。劇症くも膜下出血で即死だったそうです。

その夜から悲しんでる間もないくらいバタバタな日が続きました。父は完全にワンマン社長で何から何まで自分でやっていて、母はそのサポートでちょっと経理のお手伝い程度しか関わっていませんでした。母は亡くなってから数日ずっと「借金いっぱいあるのにどうしよう」そればかり言ってました。弟はまだ学生で私は本当に困りました。

しかしあの日、私は霊安室で父を見たとき父の亡骸が「あとはお前に任せよう」と言っている気がしたのです。「会社をたたむ」ということは全く考えもありませんでした。すぐ親族と話しとりあえず母を社長に続けていく決断をしました。

生前父はよく「俺が作った会社なんだから俺の代で終わらせてもいいんだ」とよく言っていました。きっともし父が病気で弱っていったら会社は終わりにすると言っていたと思います。しかしながら、当時の私たちは会社や業界や世の中の状況はあまりよくわからず、とにかく置いていかれた方としては「父の作った会社を潰すわけにはいかない」と思い、とりあえず母を社長に続けていくことにしました。

今思えば“やめるならあの時だった”んですね。あの時続けたということはずっと続けていかなければならないんですね。みなさんもうちの父のように「自分の代で・・・」なんて思ってる方がいらしたら是非ご自分で終わりにしてからあの世に行ってくださいね。残された者のことも考えてくださいね。

それから 6 年近く母が社長をやっていました。父が亡くなってしばらくはお得意様も協力的でどうにか会社を無事継続していました。しかし時が進むにつれお客様も厳しいことを言いますし品質的にも厳しい物を要求されるようになると、母はだんだんいつも下を向いていて笑わなくなってしまったのです。“今、病気になられたら会社も家もどうにもなくなる”と思い私は親戚一同に「私が社長を交代する」と言いました。31 歳で社長になり現在弟が専務として一緒に働いています。

当社の仕事はサングラスのプラスチックレンズの球面加工というのがメインで主に日本のブローカーさんや小さな商社を通して海外（主にアメリカ）に輸出しています。若くしてしかも女で社長になった訳ですが、さいわい海外のお得意様は会社の規模や年齢・性別などをあまり気にしません。そして国内のお得意様もそういう海外のお客様を相手にしている方達なので、あまり女性とか年齢とかで苦勞をしたことはあるかもしれないけど覚えてません。

とは言え社長になってからの約 10 年本当にい

ろいろなことがありました。会社としても私としても未熟でいろいろなことに巻き込まれたりトラブルったりいいように会社を使われたりと、よいことも悪いことも本当にたくさんありました。

景気も業績も何年も最悪で「どうすればいいのよ」と仏壇に文句を何度言ったことか。それでも父から返ってくる言葉は「お前に任せただから自分の思った通りにやりなさい。」だったのです。両親は小さな頃から弟を箱入りで私を放任で育てました。私には「人の前で泣くな。泣くときは一人で泣け。」とか「辛い時こそ笑っていなさい」とかそんな感じに育てました。ちなみに弟は「困ったときはお姉ちゃんにいなさい」という感じです。すくすくと素直に育ち 本当に辛かった数年間どんな時も私は明るく元気に過ごしました。

良いのか悪いのか、業績が最悪の数年の間も銀行さん以外は従業員も含めお得意様にも「儲かっている会社はいいね」とよく言われました。事実とは違うのですからこの言葉を言われるのが本当に嫌でした。経営状況を分かる経理士さんや銀行の支店長には「そのモチベーションをよく維持できますね」とよく感心されたものです。人は見かけが 9 割と言いますが残りの 1 割をよく見ないとわかりませんよ。今ではいつも明るく元気であることが私の社長としての一番の仕事だと思っています。

ここでやっとロータリーの話になりますが、私は 30 歳で入会し現在 10 年ちょっとたちます。元はといえば顧問の税理士さんが母に入会を誘いにきたのですが「私が入りたい」と言って入会しました。「ロータリーにも良い人も悪い人もいる。人を見抜く力を見つけなさい」と言われたのです。これを入会直後のガバナー公式訪問しかも合同例会で話して当時のガバナーにびっくりされました。それから何度か情報研究会や IM でスピーチをして千葉市近郊の皆さんを驚かしました。そんな突拍子もない私がなぜロータリーを続けているかというそれは、・人間が好きなこと・いろんな面白い人に会えること・救いの 1 言をもらえること、です。

ロータリーの例会は毎回楽しいものとは限りません。しかも気が合う人ばかりでもありません。でも毎週会っているからこそその関係であると思います。そしてどんな人でも私にとってはロータリーの仲間なのです。

私はこれまで何度もいろいろなことに打ちのめされてきました。でも必ずどんな時も誰かが助けてくれた



のです。友達・お得意様・ロータリアン・嫌いな人などいろいろな人にです。それは行動で助けてくれたとかではなく、誰かのちょっとした一言に救われてきました。それはほかの人にとっては何でもない一言ですが、テンションが下がっている私には一瞬で考え方が変わる救いの言葉だったのです。

よく女性ロータリアンとしてアドバイスをとか言われますが、ロータリーのような男性社会に出てくる女性は男っぽい方が多いと思います。女性メンバーとか男性メンバーとかで考えるのではなく、ロータリーの仲間として普通に対応していただければいいのではと思います。そんな私ですが、来年千葉北ロータリーの会長をやりま。周りは期待半分心配半分ですが私は“なんとかなる”と思っています。

始めにも言いましたが、とにかく人生生きていければ何が起きようが絶対になんとかかなると思っています。何事もどうせやるなら良いことも悪いこともみんなまとめて楽しんでしまえと思っています。ただうまくいかないと思いますが、そんなときはきっと誰かの魔法の一言が助けてくれると信じています。そして私自身も誰かを救えるような人間になれるように魔法の笑顔と元気をバラマキます。こんな私ですがこれからもよろしくをお願いします。

【出席報告】

合同例会 恒例により 100%出席

【M U】

□RYLA第3回実行委員会 (1/19)

松本君

□米山奨学生およびカウンセラー報告会 (1/20)

宮内(龍)君

□第4回RAC合同会議 (1/20)

佐藤君

【ニコニコ】

ニコニコBOX	¥ -	計	¥ 300,930
スモールコイン	¥ -	計	¥ 40,106
米山BOX	¥ -	計	¥ 33,964

＜銚子東RC／銚子RC合同例会 懇親会＞

挨拶 銚子RC 大里忠弘会長

今晚は、皆さん合同例会お疲れさまでした。おかげさまで、平成25年の幕開けに両クラブのロータリアンの皆さんと共に盛大に1年のスタートを切ることができました。千葉北ロータリークラブ会長エレクト大谷京子様 明るく元気な卓話を有り難うございました。



来年度のますますのご活躍をお祈り申し上げます。昨年度は東クラブさん創立40周年誠におめでとうございました。記念式典、懇親会等 貴クラブのキャラクターが出ており、大変楽しい時間を過ごさせていただきました。また本日は合同例会設営ありがとうございました。それではこれよりお時間の許す限り両クラブの懇親を深めていただきたいと思います。



乾杯の発声は宮内榮会長エレクト



米山奨学生の金さんと劉さん

次回のプログラム (2月6日)

『カンボジア地雷撤去ボランティア』

NPO法人 テラ・ルネッサンス
理事 鬼丸昌也様

お弁当：あぐり (幕の内)